

適用問題 5年 「小数のわり算」 ぐんぐんコース (10/13)

<ぐんぐんコース.>

(1) 目標・評価規準

本時の目標	倍を表す数が小数の場合も、基準量を求めるときには□を用いて乗法の式に表し、除法を用いて□を求めればよいことを理解する。
本時の評価規準	【技】倍を表す数が小数の場合も、未知数を□として用いて数量の関係を乗法の式に表し、基準量を求めることができる。

(2) 展開

学習活動	主な発問と 予想される児童の反応	評価規準 (評価方法)	指導上の留意点
<p>導入 7分</p> <p>1. 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>れなさんの家には、生後10日の犬がいます。今の体重は630gで、生まれたときの体重の1.8倍です。 生まれたときの犬の体重は何gでしたか。</p> </div> <p>2. めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どんな計算をすればよいか考えよう。</p> </div> <p>3. 見通しをもつ。</p>	<p>○どうすれば式を導き出すことができますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線を使って考える。</li> <li>・言葉の式で考える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を1として考えればよいかを確認する。</li> </ul>
<p>展開 28分</p> <p>3. 計算の仕方を考える。</p> <p>○自力解決</p>	<p>○計算の仕方を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線を使って考える。 1を1.8倍すると1.8になる。比例の関係から <math>\square \times 1.8 = 630</math> <math>630 \div 1.8 = 350</math></li> <li>・言葉の式を使って考える。 生まれたときの体重 <math>\times</math> 倍 = 今の体重 <math>\square \times 1.8 = 630</math> <math>\square = 630 \div 1.8</math> <math>\square = 350</math></li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない数はどう表せばよいか確認してから取り組ませる。</li> </ul>

	<p>4. 計算の仕方について学び合う。</p> <p>○ペア学習</p> <p>○全体検討</p>	<p>○友だちと考えを説明し合おう。</p> <p>○みんなの考えを聞こう。</p>		<p>・使った方法(数直線、言葉の式)を明確にした上で説明をさせる。</p> <p>・共通していること(乗法の式から考えている)を確認する。</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>4. まとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>□を使って一度、かけ算の式に表すと考えやすくなる。</p> </div> <p>5. 適用問題に取り組む。</p> <p>・教科書 P59△の問題を解く。</p>		<p><b>【技】</b> 倍を表す数が小数の場合も、未知数を□として用いて数量の関係を乗法の式に表し、基準量を求めることができる。</p>	

### (3) 適応問題

A町の面積は13.8 km<sup>2</sup>です。これはB町の0.6倍です。B町の面積は何km<sup>2</sup>ですか。

### (4) 授業を終えて

○児童全員が数直線を用いて適応問題に取り組むことができた。

- を使って一度乗法で立式することを目標としていたが、□を使った式をとばして除法の式から書いている児童がいた。
- 数直線にかく際、0.6を1よりも大きい数としてかいている児童が半数いた。
- 本時の課題が整数÷小数だが、適応問題は小数÷小数で行った。適応問題も整数÷小数にした方が良かった。
- 小数点の場所を間違えている児童が数名いた。計算の前におよその答えをイメージできるよう指導したい。